

インド法人のインド人管理者対象 来日研修

インド品質管理 研修コース

【本コースの狙い】

- ✓ 日本企業が実践しているTQM活動の基本を正しく理解することができます。
- ✓ TQM活動の推進における管理者の役割を明確に認識することができます。
- ✓ TQM推進に必要な仕組みや手法を実践的に使えるようになります。

日時: 2023年3月2日～17日(16日間)

研修費: **参加費の一部に国の補助金が適用されます。**
お見積もりいたしますので、お問い合わせください。

申込締切: 2022年12月22日(木)

実施場所: AOTS関西研修センター

〒558-0021
大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5



1994年開館。大阪市内、地下鉄御堂筋沿線にあり、交通至便です。研修の合間の気分転換には、広いラウンジで喫茶や読書を楽しめます。難波、梅田への商業施設や京都、奈良、神戸の歴史探訪の拠点としても大変便利です。団体利用に必須の大型バスも駐車可能で宿泊施設(食事付き)を併設した研修施設です。

■お申込みについて: 企業連携部研修・派遣業務G

■研修内容について: 事業統括部・海外協力G

一般財団法人海外産業人材育成協会

〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

AOTS

検索



03-3549-3051(企業連携部研修・派遣業務G)

03-3888-8256(海外協力G)



g-ukeire-ak@aots.jp(企業連携部研修・派遣業務G)

shouhei-au@aots.jp(海外協力G)



コースディレクター 西 敏明氏

- 岡山商科大学大学院経済学研究科教授
- 岡山商科大学経営学部教授
- 岡山商科大学経営学部長
- 日本品質管理学会 理事
- デミング賞委員会委員

品質をコアとした経営の考え方の理解とその深化を主要なテーマとし、研究に携わっている。

参加資格

- インドに居住の方
- 原則として、製造業においてTQM・品質管理の推進に携わる管理者・監督者、スタッフで、QC七つ道具の基礎的知識を有する方。ただし、経営方針を決定する立場にある経営者・経営幹部も可。
- 年齢は20歳以上で、原則として3年以上の実務経験を有する方。
- 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方

※講義や演習は
すべて英語(英語通訳付き)で行なわれます。

コース日程

日付	午前	午後
3/2(木)	オリエンテーション 開講式	【講義】TQMの基本 ・TQMの基本的概念、歴史的変遷 ・品質の定義、管理との違い ・TQM推進のための組織 ・TQMとその効果、新しい課題
3/3(金)	【講義】TQMの進め方とQC的ものの見方・考え方 ・QCストーリーの意義 ・QCストーリーの活用方法	【演習】QC的ものの見方・考え方 ・事例を用いた新製品開発に向けたQCストーリーの演習 ・マップ、SWOT分析、クロス表の作成、分析の演習
3/4(土)	休日	
3/5(日)	休日	
3/6(月)	【講義】方針管理と日常管理 ・方針管理の進め方とその手順 ・日常管理の進め方と必要な管理項目 ・機能別管理の構造とその進め方 ・方針管理、日常管理、機能別管理の関係	【演習】方針の策定と展開 ・事例を用いた演習を通じた方針書・実施計画書・方針展開方法の理解
3/7(火)	【講義】QCサークルによる人材育成 ・経営の視点における改善活動の意義 ・QCサークル活動を通じた人材育成の理解 ・QCサークル活動における推進者の役割の重要性 ・問題解決の方法、手順	【演習】QCサークルの活性化策の作成 ・QCサークル活動の活性化をテーマに特性要因図・系統図の演習
3/8(水)	【講義】工程の管理と改善 ・QC七つ道具の各ツールの理解、データのまとめ方 ・PDCAによる工程管理の理解 ・工程の改善活動、問題解決の手順、方法	
3/9(木)	【講義】生産システムの確立 ・生産システムの基本 ・資材所要量計画(MRP)の基本 ・JIT(カンバン方式)の基本 ・MRPとJITの融合方法	【講義】生産システムの事例研究 ・MRPによる生産システムの構成方法、および工場への生産指示の方法の理解 ・カンバンシステムを組み込むための要点の理解
3/10(金)	【見学】QCサークル活動事例	【見学】TQM推進事例
3/11(土)	休日	
3/12(日)	休日	
3/13(月)	【講義】品質保証の進め方 ・品質保証の意義と変遷 ・各ステップごとの品質保証活動の理解 ・ISO9000の基本 ・品質保証のさまざまな評価基準、方法	【演習】QC工程表の作成 ・QC工程表の作成演習
3/14(火)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・QCストーリーに沿って、各技法を用い、発射台から打ち出されたゴルフボールの停止位置の精度改善する問題解決と継続的改善の演習 ・データの収集	
3/15(水)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・同上及びデータの分析	
3/16(木)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・同上及び問題解決	
3/17(金)	最終発表	総合質疑／修了式



AOTS管理研修プログラム インド生産性向上研修コース [INPI]

期間

2023年 3月14日-24日 (11日間)

場所 **AOTS関西研修センター (大阪市)**

KEY BENEFITS

日本での講義・演習・企業見学等を通して、自社の生産性向上に役立つ総合的なノウハウを学びます

- ◆ 徹底的なムダの削減やQCD要求レベルなど、日本の「ものづくり」の考え方について理解を深めます。
- ◆ リーン生産システム、全社的生産保全などの生産管理手法について理論と実践の両面から理解を深めます。
- ◆ 改善活動や見える化によって効果的に省工ネを進める方法について理解を深めます。
- ◆ 生産管理活動におけるIoT活用の意義と、データ収集・活用のプロセスについて理解を深めます。
- ◆ 自社に適した管理手法を導入し取り組むための具体的な計画を作成します。

対象者

インドの製造業の経営幹部、管理者等
(20歳以上、日本人不可)

参加者定員

22名

言語

英語 (または日本語/英語通訳付き)

参加費

日本での滞在費および研修参加費の一部に日本政府の補助金が適用されます。
詳しくは募集要項をご覧ください

申込期限

2023年1月13日(AOTS着)

お問合せ・お申込み

日本から： AOTS 研修・派遣業務グループ

Tel: 03-3888-8221 Email: kigyo-inquiry-az@aots.jp

インドから： AOTS ニューデリー事務所 手島

Tel: +91-11-41054504 Email: info@aots.org.in



スケジュール(予定)

月/日	午前	午後
3月14日 (火)	オリエンテーション 開講式	講義：日本企業のものづくりの特長
3月15日 (水)	講義：リーン生産システム	
3月16日 (木)	講義・演習：ムダ削減、現場改善による生産性向上	
3月17日 (金)	講義：生産性向上による省エネルギー活動の取り組み、IoT活用事例	
3月18日 (土)	休日	
3月19日 (日)	休日	
3月20日 (月)	講義・演習：生産現場でのIoTの活用	
3月21日 (火)	(企業遠隔等) 移動	見学：リーン生産システム
3月22日 (水)	(地見学) 見学：IoT活用による生産性向上	見学：5S・改善活動
3月23日 (木)	講義：全社的保全活動による生産性向上	
3月24日 (水)	グループワーク・発表： 生産性向上のための行動計画作成・発表	グループワーク・発表： 生産性向上のための行動計画作成・発表 修了式

※プログラム構成や日程は変わることがあります。

AOTS 関西研修センター

宿泊施設(食事付き)を併設した研修施設です。
(大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7番5号)

